

## 臨床研究

### 前十字靭帯損傷治療における多施設レジストリー研究

#### 研究の背景・目的

前十字靭帯(ACL)断裂は日常的に生じる外傷の一つであり、自然な自己修復が起こらずに脛骨の前方および回旋不安定性を引き起こす。手術による ACL 再建術は脛骨亜脱臼を抑えスポーツ復帰を可能にする。

近年、北欧から全国レベルの ACL 損傷レジストリーシステムを用いた大規模な研究が報告されている。本邦では多施設共同研究を東京医科歯科大学が、さらに 2017 年から広島大学も開始しており多くの研究成果を発表している。千葉大学整形外科の膝関節グループ(関連病院を含む)でも全国的に比較的多くの ACL 損傷症例を治療しているにも関わらず、施設間で異なる術式を使用し、測定データやアンケート等の共有は為されておらず上記のような大学主導の多施設レジストリーのような質の高い報告が出来ていないのが現状である。そのため当大学から本邦 3 番目の多施設レジストリーを立ち上げ、各施設間での ACL 損傷患者のデータを統一し分析を行うことができれば、本邦における ACL 損傷の治療方針へ影響をあたえるような質の高いエビデンスを作ることができると考える。

本研究の目的は ACL 損傷後の治療成績を調査し、術前、術中、術後のデータを用いて、成績に影響を及ぼす因子(年齢、BMI、骨孔位置、半月板処置の有無、活動強度、MRI、Xp 画像所見など)を調査することを目的とする。

#### 対象・方法

当院で ACL 損傷に対して保存治療、または ACL 再建術を受けフォロー可能な患者様のカルテを参照し、背景データおよび画像データ結果を調査します。調査及び解析は東千葉メディカルセンター内で行います。

#### 研究機関名

施設：東千葉メディカルセンター

#### 個人情報に関する手続き

本研究で行われる検査は通常診療で行われているものです。本研究により、直接的に患者様に不利益を与えることはありません。また個人情報を厳重に管理する体制等を整備し、公表時には個人情報の漏洩がないように行います。データ等は、東千葉メディカルセンターの鍵のかかる棚で保管します。なお、本調査への参加を希望されない場合には、情報を用いることは致しませんので、以下の担当者まで御連絡をお願い致します。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて

HPに掲載しています.

**問い合わせ担当者**

東千葉メディカルセンター 整形外科 佐藤 祐介

TEL 0475-50-1199